

第 2 2 期 第 1 回 八尾市図書館協議会会議概要

日 時 令和 2 年 7 月 3 0 日 (木)  
1 4 時 0 0 分 ~ 1 6 時 3 0 分  
場 所 八尾市立青少年センター集会室

出席者 (敬称略)

松井 純子 (大阪芸術大学教授)  
江岡 信行 (八尾市青少年育成連絡協議会)  
松井 祥一 (八尾市校長会)  
二宮 久子 (八尾市社会教育委員会議)  
西村 一夫 (元松原市民図書館長)  
島上 智司 (大阪市立中央図書館 利用サービス担当課長)  
稲垣 房子 (元奈良大学教授)  
池田 多瑛 (公募市民委員)  
喜多村 洋子 (公募市民委員)

欠席者 (敬称略)

鍛冶 宏之 (八尾市 PTA 協議会)  
仙田 ひろ子 (大阪府立中央図書館 司書部長)

事務局

中山 晶子 (八尾市教育長)  
田中 淳二 (生涯学習担当部長)  
万代 辰司 (教育総務部次長)  
谷 裕之 (八尾図書館長)  
伊藤 均 (山本図書館長)  
小田 泰造 (志紀図書館長)  
上原 康男 (八尾図書館長補佐)  
仲谷 仁志 (八尾図書館長補佐兼利用サービス係長)  
森尾 憲 (八尾図書館資料係長)  
松井 浩一 (山本図書館係長)  
津村 晴奈 (八尾図書館副主査)  
小畑 由季 (八尾図書館司書)  
喜多 由美子 (志紀図書館司書)  
中村 功 (龍華図書館長：指定管理者)  
長谷川 麻優子 (龍華図書館館長補佐：指定管理者)

## 1 教育長挨拶

## 2 会長・副会長選出

会長に松井純子氏、副会長に江岡信行氏を選出する。

## 3 議題

### (1) 図書館の事業報告について

#### ①令和元年度 図書館事業の報告について

#### ③数字で見る八尾市の図書館

委員：1日当たりの個人貸出点数が重要であるが、平成28年度から減少傾向が続いている。アンケートでは、職員の対応について肯定的なご意見をいただいているが、資料の充実に努めていただきたい。

事務局：昨今の減少傾向については、サービスの充実を図り、来館いただく仕掛けづくりをしているが結果、数字に結びついていない。また、アンケートの結果からも資料の充実が重要であると認識しており、充実した図書館運営に努めていきたい。

委員：3月の休館及びその後の利用制限の状況について、教えていただきたい。

事務局：令和2年3月3日から31日まで臨時休館し、原則貸出・返却のみに限定し4月1日から7日まで開館した。その後、4月8日から再度、臨時休館とさせていただいた。5月21日からは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、館内の消毒や短時間でのご利用をお願いするためイスの撤去や新聞・雑誌の最新号の閲覧禁止等を行い運営している。また、館内行事についても当面の間は、休止している。

委員：今東光資料館の来館者数はどの程度か。

事務局：令和元年度の来館者数は、3,082名の方にお越しいただいている。

#### ②龍華図書館の事業実績及び計画

委員：指定管理者の評価について、どのように実施し、どのような評価をしているのか。

事務局：毎年モニタリング調査を実施し総合的評価はSという評価をしており、市議会にも報告している。なお、毎月、龍華図書館長より運営状況の報告を受け、改善すべきところは改善いただき計画通りに進めていただいている。

委員：業務従事者について、正規、非正規社員かどうか教えていただきたい。また、スタッフ研修について、全員がいずれかの研修に参加しているのか。また、館内研修を実施しているとあるが、どのような研修内容なのか教えていただきたい。

事務局：社員については、2020年4月現在、1年毎の契約社員が11名、期間の定めのない社員が6名という構成であり、6名のうち5名が入社後5年経過しているものである。研修については、各社員の入社歴、担当分野を考慮し研修に参加している。また、館内研修については、株式会社図書館流通センターのデータベースより、レファレンス研修ができる社員を東京から呼び実施したものである。

委員：絵本、ブックトーク研修は、具体的にどのように実施しているのか。

事務局：入社1年未満の者を対象に読み聞かせや選び方の館内研修や大阪府主催の研修に参加している。また、ブックトーク研修については、年1~2回程度、全員を対象に研修を実施している。

委員：子どもの声を聞くような取り組みがあれば教えていただきたい。

事務局：直接お話をすることは無いが、中学校の職業体験でアンケートを取らせていただき、YA コーナーやイベントに意見を反映している。

委員：事業計画書にある株式会社明日香との子育て世代支援に関する取り組み内容について、教えていただきたい。

事務局：株式会社図書館流通センターの子会社で保育サービスを中心とした保育託児の専門企業である。新型コロナウイルスに関係して、託児サービスを中心に企画しており、10月から実施を予定している。

委員：事業計画書に地域力向上とあるが、コミュニティセンターや地域との連携はどのようにしているのか。

事務局：コミュニティセンターや地域との連携については、星空さんぽ、プレママ・親子相談・交流会などの行事に関して、コミュニティセンターや株式会社ミキハウス、大阪府立八尾高校と連携、協力し実施している状況である。

## 4 報告

### (1) 図書館利用者アンケートについて

委員：アンケートを通じて来館できない方々の意見をお聞きし、サービスに反映させることはできないのか。また、新たな障がい者サービスを検討していることがあれば教えていただきたい。

事務局：障がい者サービスとして、宅配サービスや郵送サービスなどを実施しており、PR については、本市の障がい福祉課と連携してチラシの配布等を実施しているところである。

委員：昨年度、八尾市地域福祉推進基金事業助成金を活用し絵の本ひろばを開催した。各施設に訪問して開催する中で、図書館に来館できない方々に本を選んでいただけるような仕組みが市立図書館でもできないかと感じた。

委員：関係部局とも連携し、本当に必要とされるような方々に届けられるような仕組みづくりをお願いしたい。

委員：館外アンケートは、予算措置が必要だと考えるが実施手法についてお教えいただきたい。

事務局：職員で実施しているため、特に予算措置はしていない。令和2年1月8日から2月29日にかけて各出張所10か所にアンケート箱の設置や子育て支援担当課が実施するイベント等で調査票を配布した。また、移動図書館のアンケートは、令和元年11月1日から12月14日の期間で実施した。なお、結果については、改めて提示させていただく。

委員：YA 世代の回答数が非常に少ないが、どういうニーズがあるか把握し、今後のサービスに反映させていきたい。

### (2) 八尾市教育振興基本計画について

### (3) 八尾市子ども読書活動推進計画について

委員：子ども読書活動推進計画策定に関して、司書、市民、図書館協議会の意見も聞くとのことだが現在、どのような会議体で検討を進めているのか。

事務局：計画策定にあたり、八尾市子ども読書活動推進計画策定検討委員会を設置し、八尾図書館、教育委員会指導課、市長部局では、子育て支援課、こども施設課、健康推進課、コミュニティ政策推進課、青少年課、安中青少年会館の所属長が委員となり、検討を進めている。

委員：課題である中高生の声を聞き、反映していただきたい。

委員：具体的な取り組みについて計画に反映させるとあるが、目標数値を示すことはするののか。

事務局：計画であるので、目標値を設定すべきだと考えており、今後意見を深めていきたい。

委員：八尾市子ども読書活動推進計画と八尾市教育振興基本計画の整合性を図り策定いただくよう要望する。

事務局：策定期間が同時期であることから両計画の整合性を図り策定していく。

## 5 その他

委員：電子図書館サービスについて、休館中の貸出状況などを教えていただきたい。

事務局：令和元年11月からのログイン数と貸出冊数については、導入当初である11月が最も多く、2月から5月までは増加傾向だったが、6月から下がった。これまで10代を対象に選書してきたが、結果に結びついていない状況である。